

平成28年2月24日

平成27年度 知立市まちづくり委員会

報告書

知立市まちづくり委員会

目次

1	【はじめに】	1
2	【平成27年度まちづくり委員会プロジェクト①.....	2
	「新しい知立駅を中心としたまちづくり研究会」	2
3	【平成27年度まちづくり委員会プロジェクト②.....	11
	「知立観光PRプロジェクトグループ設立」	11
4	【平成27年度まちづくり委員会プロジェクト③.....	21
	「ちりゅっぴ盛り上げ隊の結成」	21
5	【平成27年度まちづくり委員会プロジェクト④.....	29
	「池鯉鮒塾（高齢者サロン）の設立」	29
6	【平成27年度まちづくり委員会プロジェクト】	33
	「ソーシャルメディアを活用した新たなコミュニケーション」	33
7	【平成27年度まちづくり委員会プロジェクト⑥.....	37
	「地域の伝統文化を通じた子どもの体験学習」	37
8	【平成27年度まちづくり委員会プロジェクト⑧.....	40
	「まちのオアシス…みんなの居場所（コミュニティサロン）」	40
9	【結びの言葉】	51

1 【はじめに】

計画に込めた思い

まちづくり委員会は平成25年度「知立市市民版まちづくり計画」、即ち、市民の市民による知立のまちづくり計画として、新しいまちづくり委員会の在り方を模索しつつも計画の骨子案を決め、平成26年度まちづくり委員会の提言は、骨子案をもとに具体的な課題設定と実施に向けたアクションプランづくりに取り組み、そして今年度はアクションプランに基づく実行計画の推進と試行・取りまとめ等を行なう年となりました。

そして、一年間の総評（成果）はいかに？

この問いに対する答えはNOであります。例えば、期中において委員が「市民版づくりの一環」としての活動と思い行動している事が、市当局にとっては「自主研究組織としての枠外」の行動として認識されていると言う事などがあり、その結果、市当局との「連携不足」や「協力不足」に繋がった側面もありました。総じて言えば市民版づくりにおける市当局との「協働」の視点欠如があり、委員長としてこの側面を解決できなかった事は大きな反省であります。また市当局の皆様もこの声を心に留めていただきたいと思います。さらに、今年度は各チーム（部会）が当初から個々の活動結果、委員会全体としての一体感の乏しい運営となり、その改善も見ないまま1年が過ぎてしまいました。このことも大きな反省点であります。

ただ、その中であって各チームの提言内容は、ただ提言するだけでなく自分達が継続して取り組む内容になっており、まさに平成25年度よりの想いを受け継いだまとめであると思います。是非、市当局の前向きな検討をお願いいたします。

最後に、今後の委員会運営における私見を述べさせていただきます。

- 1つ目は、今後の「市民版づくり」を進めるにあたり、その環境整備を実施して頂きたいと言う事です。
- 2つ目は、委員会のありかたを変え、他市が採用している「協働事業提案制度」をつくり、その推進団体としての委員会の位置づけに変更したら如何ですかと言う事です。
- 3つ目は、現状では委員会活動が窮屈になっている点を考慮して基本条例第18条の再検討を視野に入れて頂ければ、と言う事です。

委員長の範疇外での提案とも思いましたが、今後の更なる委員会の発展のため一考と思い記述しました。

まちづくり委員会委員長 小橋和昭

2【平成27年度まちづくり委員会プロジェクト①】

【新しい知立駅を中心としたまちづくり研究会】

テーマ。知立駅周辺のまちづくりについて幅広い層からの意見集約を含む事例研究を行います。

委員。小橋和昭（リーダー） 増田好洋（前リーダー） 小川隆治
大羽悠介（書記） 近藤 隆

具体的な取り組み計画

意見集約の基本である「幅広い層からの意見集約」を具現化する為、特に若い人や女性をターゲットとする企画とコラボした方法（アンケート）を考える。

- (1) 市内でのイベント・催事とのコラボ企画（バザール知立の道の市など）
- (2) 街角でのアンケート調査
- (3) 市内での各学校行事とのコラボ
- (4) 駅前を利用する学生・若い人・女性の意見交換・アンケート調査
など、色々な意見が出された。

●アンケート実施の為、基礎的な知識の習得の目的で、関連する市担当部署との意見交換が必要との意見があり下記の通り実施した。

平成27年9月16日（水）19時～20時

「駅前事業のDVDの鑑賞とこれに基づく説明会」の開催
都市開発課連続立体交差事業担当秋月様、同課土地区画整理事業担当西村様
による説明と質疑応答を行った。

実施予定及び実施した計画の報告

- (1) 平成27年10月11日（日）道の市4周年企画とのコラボ
山本学園中部製菓専門学校学生によるジオラマ「未来の知立」の展示
とコラボしたアンケート調査を実施した。件数は97件

また、中部製菓専門学校の学生によるアンケート協力は29件
調査総数は126件でした。

なお、10月10日・10月13日は準備と撤去を行った。

(2) 平成27年11月9日(月) 13時～15時まで
知立高校キャリアデザイン演習とのコラボ企画の実施。

テーマ「名鉄三河知立駅開業100年に伴う知立の歴史と発展を学ぶ」
＝特に弘法さんの賑わいと鉄道の役割りなど＝

この企画実施時にアンケート協力の依頼(参加人数 18名)

11月4日(水)坪井先生との最終打ち合わせを実施。

(3) 平成27年11月11日(水) 18時～19時

愛知教育大学OB・OGとの意見交換会の実施予定。

テーマ「在学時に感じた知立駅の利便性や現在の思いなど、色々」

(基本的にはフリートーキング会とする)

この企画実施時にアンケート協力の依頼(参加人数は7名)

(4) その他

なお、このアンケート項目に対する意見集約は、まちづくり委員会メンバーに
対するアンケート調査(11月25日第9回まちづくり委員会にて実施)を最
後に作業を完了した。

また、本グループの提言づくりは、平成28年1月13日の第11回まちづく
り委員会より実施した。なお、データの集計はアンケート調査日時がまちまち
の為、作業的に2回に分離した集計用紙となり、若干読みづらい集計結果にな
りました事をお詫び申し上げます。

「新しい知立駅を中心としたまちづくり研究会」アンケート調査Ⅰ

調査日 平成27年10月11日（日曜日）

調査場所 道の市（バザール知立主催）9時～12時30分

なお、これに関する添付資料があります。

（アンケート方法）

山本学園中部製菓専門学校学生によるジオラマ「未来の知立」展示イベントとコラボして、見学者の年代別にアンケート調査する形態を使用しました。なお、これに際し弘法町風101神谷文明様自宅を会場としてお借りし、また地元ボランティアグループ「知立動けば会（代表 鈴木彰治様）」の支援も頂きました。改めて、御礼申し上げます。

（アンケート結果 第1弾）

（1）年代別統計 回答数 126名

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性（名）	1	3	10	12	8	14	0	48
女性（名）	24	13	9	10	13	6	3	78

割合で示すと、全体では回答者の男性が38%・女性が62%でありこれを年代別に見ると10代が全体の20%、以下20代が13%、30代が15%、40代・50代が各17%、60代が16%、70代が2%であった。

（注）アンケート項目のなかで、回答者の居住地の項目をいれたが126名の中で、知立市は71人で56.4%、知立市以外の方が55人で43.6%の結果。

これを見ると、道の市（バザール知立主催）が知立市民のイベントから周辺地域のイベントとして認知されており、知立の賑わいづくりに大きな貢献を果たしていると言う事が明白であり駅周辺再開発後の市イベントの在り方に一石を投じていると推察されます。

「新しい知立駅の I」

(アンケート結果 第1弾の続き)

(2) 設問「知立駅周辺再開発事業の行程表(スケジュール表)を知っていますか」に対する年代別回答(名)。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
よく知っている	1	1	4	4	7	11	28
あまり知らない	3	7	12	12	9	7	50
全く知らない	11	12	3	6	6	5	43
合計	15	20	19	22	22	23	121

(3) 上記回答の「あまり知らない」、「全く知らない」における理由の回答。

- 10代=友人に聞いたことがあるが? PR活動不足。
知立には住んでいないので知らない。興味がない。
- 20代=毎日駅を利用しているが見た事がない。興味がない。
PR活動不足。知立には住んでいない。
- 30代=詳しくは知らないが見聞きしている。ポスター・看板がない。
CMもやっていないので知らない(テレビ・ラジオ)
- 40代= SNSをもっと利用してPR活動をした方が良い。
ポスターがない。CMがない。
- 50代=地元の新聞やラジオなどでのPR活動不足。
イベント等の人寄せ企画をしてPR活動をしたら。
- 60代=」新聞などでのPR活動不足。看板やポスターがない。

全体としては、若い世代ほど知らない人が多い。また「あまり知らない」では知立市の人が多く、若干の理解はあるがこれを深めるには、市のPR活動不足に対する施策の対応が必要と思われる。

「新しい知立駅を中心としたまちづくり研究会」アンケート調査

(アンケート結果)

(4) 新しい知立駅に欲しいと思われる、機能や商業施設などがあれば教えてください。(この設問に対する年代別回答)。

- 10代=キレイなトイレ。 ショッピングモール。 南口にコンビニ
居酒屋以外の店。100円ショップ。 ライブハウス。
女性向けの車両やホームの場所。映画館。スイーツの店。本屋。
ケーキ屋&美味しいパン屋。温泉。駅に近い自転車置き場。
- 20代=キレイなトイレ。 スターバックス(長い出来る店)。コンビニ。
ケーキ屋&美味しいパン屋。飲食店以外の店。ショッピングモール。
- 30代=駅構内のキッズスペースなど。時計台。おむつ替えスペース。
スポーツ施設。図書館。キレイなトイレやホール。観覧車。
芸能などの発表スペース。子供が遊べるスペースや保育所。コンビニ。
- 40代=スーパー。多目的ホール(イベント)。観光の拠点。ブックカフェ。
キレイなトイレ。カルチャーセンター(夜遅くまでの)。自由通路。
高齢者・障害者・外国人でも分かりやすい標識。コミュニティセンタ
- 50代=木陰で休める公園。緑いっぱい駅。イベント広場。キレイなトイ
レ。
ランチの店。ケーキやコーヒーのある店。アスナル金山。図書館。
障害者でも気軽に入れる施設。観光案内の拠点。イベントホール。
60代=知立市をアピール出来るもの(駅に降りたときに目立つシンボル)
階段よりもエスカレーター。観光協会の事務所。スイーツの店。
総合スーパー。総合病院。コンサート会場。商業ビルと情報発信基地。
公開広場。映画館。コーヒーとケーキの店。イベント広場。

(5)「賑わいづくりの為に駅前でのイベント・催事の良案は」の設問の回答。
先程の(4)に比較して、各世代とも回答が少ない。イベント・催事よ
りも、新しい知立駅で欲しい機能・施設への関心度が高いためと思われます。
これは、本グループが平成26年度提言内容とほぼ同じの為に、巻末資料とし
て添付いたします。(※)

以上、10月11日(日)のアンケート結果の報告とします。

「新しい知立駅を中心とした街づくり研究会」アンケート調査Ⅱ

(アンケート結果 第2弾)

このアンケート結果は、前述の知立高校生徒さん、愛知教育大学OB・OGさん、まちづくり委員会委員の皆様の集計です。通常のアンケート調査では全部まとめた集計ですが、今回は集計の作業日程もあり別々となりました。ただ、市民の声としては充分理解出来る内容だと思います。

(1) 年代別統計 回答数 32件

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
男性	3	3	3	0	2	3	14
女性	10	4	0	1	0	3	18

(2) 設問 知立駅周辺再開発事業の行程表(スケジュール表)を知っているか

年代別回答(名)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
よく知っている	2	4	0	1	0	1	8
あまり知らない	10	1	2	0	2	4	19
全く知らない	1	2	1	0	0	1	5
合計	13	7	3	1	2	6	32

(3) 上記回答の、あまり知らない・全く知らないにおける意見(総評)

この項目の回答はアンケート結果第1弾の内容とほぼ同じであった。その為、年代別回答の列記は控えるものの「告示不足・PR活動不足」の指摘がほとんどである。これは、駅前周辺再開発事業に対する市民及び駅周辺を利用する人の関心度の低さへつながっていると思われる為、この事に対する市当局の更なる対応の充実が求められると推察されます。

(4) アンケート調査項目「新しい知立駅に欲しいと思われる、機能や商業施設があれば教えてください」にたいする回答。

(総評) 各年代の意見は、アンケート結果第1弾と重複しない意見を列記する。10代では、知立と言えば「これだ」と言うようなシンボリックなものが良い、キレイなトイレ、便利な駐輪場、プロジェクションマップなど。20代

では、ちりゅっぴの家、喫煙スペース。グルメ屋台。街の観光マップや飲食マップ。車が一時的に駐車できるスペースなど。働くお母さんや若い主婦からは、夜遅くまでの保育施設、帰りにくつろげる場所の確保やトイレの充実、お祭り広場など、また、その他の年代からは、オシャレな待ち合わせ場所、駅周辺のイルミネーション、知立伝統工芸の展示、イベント場所。名所・旧跡の案内所（同時に今ある名所・旧跡に一工夫、例として松並木のライトアップ）、駅前芝生広場など多様な意見が出されていた。

（５）アンケート調査項目「賑わいづくりの為の駅前でのイベント・催事のよい案は」における回答は、アンケート結果第１弾と同じであるが以下の様な回答も見られた。

- 安城市に比べて駅周辺が淋しい（２０代女性）
- 交通の便の良さをいかした、いろいろの施設。
- 学生が帰りにくつろげる場所（飲み屋以外、酔ったおじさんがいない）。

（注）知立高校の学生は今回、三河知立駅開業１００年を学ぶという課外授業の側面もあり、三河知立駅移転後の現在の駅舎後に何か残したほうが良いのではと、言うことで以下の意見がありました。

- （１）古いレールを使用したモニュメントがよい。
- （２）「知立は知立」の歌がながれるモニュメント（新駅でも良い）
- （３）展示場とか看板をたてる、歴史館をつくる。
- （４）一部の建築物を残す。
- （５）学校や市役所にこの事の歴史本をつくり置く。などである。

最後に、この一年の活動を通して、学生を含む知立市民や近隣市民の皆さんが現在進行中のこの事業に対する期待の大きさが判明した。この事業をキッカケに今まで以上の賑わいづくりや環境整備の向上など様々な改善に取り組んで欲しいと言う要望が読み取れるアンケートになりました。

皆さ達の
お力添えで

4周年

な、なんと!
60ブース!

弘法笑店街 道の市

お陰様で、「弘法笑店街道の市」は4周年。
歩行者天国の弘法通りの両側に野菜、果物、五平餅、フランクフルト、小物雑貨の軽トラが並びます。お店の人と話しながらい物が楽しめます。10月は4周年記念イベントとして、幻の名車トヨタのスポーツカー2000GTと究極のエコカーの燃料電池車MIRAIを展示。自動車の楽しさと未来の姿を堪能して下さい。

日時 10月11日(日)
午前9:00 から12:30迄
(※車両展示9:00~12:00迄)

場所 知立市弘法通り(ホコ天210m) 遍照院境内

必見 トヨタ2000GTとMIRAIでおもてなし!

幻の名車展示&トーク(遍照院境内)

開発: 1965年(開発50周年)
販売: 全世界で387台(その内2台展示)
記録: '68年世界記録3個、国際記録13個



「幻の名車」トヨタ2000GT

「山本学園 ジオラマ 展示」

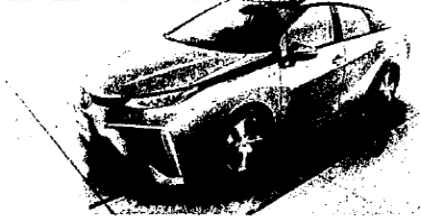


どんな町になればいい??
未来の知立

最新エコカー展示(遍照院境内)

MIRAI

燃料電池車(愛知トヨタ協賛)

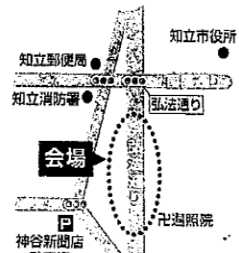


CMS

超小型電気自動車コムス(トヨタ車体協賛)



◆交通安全教室(ゼスト協賛)
運転席からの死角確認22



(※)巻末資料

取組のタイトル	知立駅における活動できる・交流できる場所の確保
現状	知立駅は便利な交通結節点として、現在も多くの人々が利用しています。知立駅が新しくなるのを契機に、多くの市民や外から訪れる人が、鉄道利用以外の目的でも知立駅に集まり、まちに出て活動してもらうために、協働の立場でまちづくりに取り組み、知立駅と周辺の魅力を高めて行こうとする視点が不足していると思われます。
解決したい課題	<p>① 知立としての風情や人間味、歴史や文化を大切にす視点を具現化する駅周辺のまちづくりの実現</p> <p>② 子供、女性、お年寄りにやさしいまちづくりの実現</p>
解決の方法	どこで 知立駅前および知立駅周辺
	<p>どんなことをするか</p> <p>(1) 課題①の具現化については ※こんな事をするから一緒にやりましょうよ! A：駅前開発中の空地を利用したイベント開催があります。 B：『知立駅周辺再開発の目玉ビル』の空スペースを利用したイベント開催があります。 (イベント具体例) *道の市 *熱気球 *カートでの実践交通教育(子供&年寄) *クラシックカー、レースマシンの展示 *吹奏楽、ジャズ、フォーク、たいこ、ミニSL *各種コンテスト(ダンスコンテスト、マスコットキャラクターコンテスト) *こどもフェスティバル *〈ちりゅっぴ〉の広報活動(Bグループと連携) *外国の方が主催するイベント *伊勢のおかげ横丁や金沢の近江町市場を参考にしたフリーマーケットイベントを行う</p> <p>(2) やさしいまちづくりの実現をするためには ・学生などいろいろな方たちに意見を聞く必要がある 愛教大、山本学園など、その他 ・こどもまちづくり委員会の結成なども良い</p>



3【平成27年度まちづくり委員会プロジェクト②】

「知立観光PRプロジェクトグループ設立」

— <プロジェクト会議・経過報告と今後の課題提案> —

④メンバー = せめ、岩塚、三日月、杉本、近森 (平成27年8月～28年2月)

* 第1期 (8月) ～年間作業の方向性とスケジュールの決定～

- ①プロジェクトメンバー新・旧 (平成26・27年度) のミーティングによるレベル併せと方向性の決定。
- ② 知立関連の“観光全般”に関する資料収集と課題の抽出

* 第2期 (8月下旬・9月) ～設立の為の実践的情報収集と企画～

- ①現地見学と各担当者とのヒヤリング
 - (イ) 知立の観光名所・旧跡 ((知立神社・弘法山・花菖蒲・杜若、他)
 - (ロ) 知立の祭り、イベント (知立祭り・花火・よいとこ祭り、他)
 - (ハ) 知立名産品 (あんまき・うなぎ・とりめし・ところてん、他)
- ②上記、関連項目の行政担当者並びに各種団体会員からの情報収集
 - (イ) 経済課・文化課・都市計画課、など
 - (ロ) まちづくり委員会OB、観光ボランティアGとの意見交換

* 第3期 (10月・11月・12月) ～設立準備委員会結成～

- ①「知立観光PRプロジェクトグループ」設立準備委員会の結成

*観光関連各種団体長による意見交換会 (11月実施)

参考資料 ①～④

- ②意見交換会の分析・検討と今後の方針の決定

* 第4期 (平成28年1月・2月)

○「知立観光PRプロジェクト推進会」設立準備

～プロジェクトの“設立から推進”まで～

参考資料 ⑤～⑧

☆ <シンポジウム「観光立市、一步前へ」開催>

参考資料 ⑨

平成28年度は知立観光PR元年

知立観光PRプロジェクトグループ設立準備委員会の結成について

-設立主旨-

この知立観光PRプロジェクトグループ設立は知立市まちづくり委員会で「市外の人
が何度も訪れたいくなるまちづくり」のテーマのもと、まず現在の知立市の分析から開
始した。

知立はこの地方の「交通の要所」という利便性や、名所・旧跡・お祭り・名産品など
の観光素材に恵まれた「まち」であるにもかかわらずこの事が市内外の人々の認知度
と結びついてないと言う結論に至った。

これは、市民・行政・各種団体との一体感が欠落し「協働」の視点での取り組み姿
勢が他市との比較でも希薄であることが大きな要因であると推察される。

このため、観光素材の再点検(掘り起し・充実)とこれの大々的観光PR戦略(新規
PR媒体の研究・実施も含む)の展開が必要と提言を行った。

そして、この実行の為の準備委員会を今回立ち上げることにした。

なお、この観光PRプロジェクトの「PR」とは単なる情報発信の整備ではなく実行計
画を核とする幅広い戦略である事と付記いたします。

-運営のキーワード-

- ①スピード感～とにかく早く、計画的に
- ②行動力～まず、やってみよう
- ③おもてなしの心～行動の原点
- ④駅周辺再開発事業との連携～新しい賑わいづくり

-具体的な課題-

- ①行動計画のスケジュール化と他市の観光推進状況等の情報収集
- ②知立市の観光関連グループとの絆づくり・組織づくり
- ③観光協会及び市担当部署との連携・協力

「知立市の歴史・観光・イベント（祭りを含む）についての 意見交換会」開催のご案内

本日は、上記見出しの意見交換会へ参加のご案内を突然お出しする無礼をまず、お許しいただきたいと思えます。

今回のこの意見交換会開催を企画致しました団体は、広報ちりゅうでのご案内のまちづくり委員会プロジェクトを起しこれに賛同する方々による会「(知立観光PRプロジェクトグループ設立の為の) 設立準備委員会」であります。

さて、知立市がこれから伸びていく為には、様々な政策・施策の中で特に知立の特性である「観光産業」の育成・PRが重要なものの1つとして位置づけられると認識しております。添付資料の当会の設立主旨に記入の通り、この観点での取り組みは、現在の知立市はまだまだ充分でないと考えます。これに対応するには、今までの様な単一的・分割的な育成・PRでなく総合的な・横断的な観点での取り組みが必要と考えて活動を開始いたしました。そこで知立市の歴史・観光・イベントの第1線でご活躍の皆様方の率直なご意見をお聞かせいただきながら実施計画へつなげて行きたいと思っております。

この様な主旨をどうかご理解いただきましてご参加をお願い致したくこの案内文をご持参させていただきました。お忙しいところ恐縮ですが何卒よろしく願います。

記

開催日時。平成27年11月12日（木曜日）19時～21時

開催会場。 中央公民館 第1展示室

議 題。(1) 知立市の観光への取り組みについて

(知立市観光協会会長 本多 正幸氏)

(2) 参加団体からの活動報告及び意見交換

(市の観光への取り組みに対する意見も含めて)

(3) その他

設立準備委員会委員長 小橋和昭

第一回 知立観光PRプロジェクトについての意見交換会 出席者様一覧表

(団体名は順不同であります)

No	団体名	代表者様	出席者様
1	知立山車文楽保存会 知立山車連合保存会	会長 加藤 敏三 様	理事 柴田 貴陽司 様
2	知立からくり保存会	会長 坂田 盛彦 様	同左
3	八橋旧跡保存会	会長 近藤 喜弘 様	同左
4	知立公園花菖蒲育成会	会長 永谷 勇 様	同左
5	弘栄会	会長 鈴木 政二 様	同左
6	知立まつり	当番町 中新町 惣代長 増田 健二 様	同左
7	知立よいとこ祭り	会長 本多 正幸 様	同左
8	NPO法人 バザール知立	理事長 久世 泰男 様	同左
9	知立動けば会	代表 鈴木 彰治 様	同左

◆閉会の言葉：久世さん

各団体の方々の話を聞かせていただき本当にありがとうございました。
改めて皆様の大変さが伝わりました。
祭りであれば市民全体が見に来てくれるような取り組みは現在できていない。
市の観光発信が不十分と感じている。
本多会長、小橋委員長をお願いしてこのような会を開催していただきました。
はたして知立は市外のお客様におもてなしができていますか？
食べ物、お土産などの企画、計画、情報発信をしていきたい。
それらを実施するプロジェクトチームを作りたいと思う。
より市民に楽しんでいただく為の計画をしていきたい。
1年を通じてのイベントをすべて活性化させていけるような取り組みをしたい。
祭りの宣伝を知立駅でやるなどの企画をしたりするチームにしていきたい。
行政とも一体となってやっていきたい。ご協力をお願いいたします。

竹内さん：今後ともよろしく願いいたします。アンケート記入をお願いします。

◆アンケートコメント一覧

観光を売るならまず「観光案内所」の設立を早い時期に・・・駅周辺のできる限り近くに！！ もう一度祭りも見直してどう発信したら良いかを考えてみたい。
身のある会だと思えます。今後も活発な活動を。知立の観光の基盤づくりを。
意見交換会良かったです。
各担当者の大変な苦勞が分かり良い事です。今後よろしく願いします。
各団体の実態が良く分かり今後の活動に大いに参考となる。県の観光は会長がJR出身の須田氏 による「産業観光」重視が先行しているので相当な決心で対処する必要を感じています。
大変参考になりました。今後ともよろしく願いします。
各団体との意見交換会は素晴らしい。今後、交換会開催を続けられることを望みます。 1. オール知立で情報収集と情報発信 2. 通年化とスケジュール化 3. 全事業

◆アンケート結果まとめ

「各団体様の課題や情報を共有できることが大変素晴らしい」、
「今後もこのような機会を継続して欲しい」という意見が多い為
★知立観光PRプロジェクトに賛同して頂けたと認識

ご協力ありがとうございました。

「知立観光PRプロジェクト推進会」設立について

(設立主旨)

知立はこの地方の「交通の要所」と言う利便性や、名所・旧跡・お祭り・名産品などの観光素材に恵まれた「まち」であるにもかかわらずこの事が市内外の人の認知度と結び付いてないと思われま

す。これは、市民・行政・各種団体との一体感が欠落しており、総合的で横断的な観点での取り組みの欠如、即ち「協働」の視点での取り組み姿勢の希薄さが、大きな要因であると推察される。

この為、観光資源の再点検(掘り起し・充実)とこれを推進する為の大々的観光PR戦略(新規PR媒体の研究・実施も含め)の展開が必要であると思

(設立までの経過報告)

平成27年9月30日(水)に、本推進会立ち上げの為の設立準備委員会を結成しました。具体的な行動計画として

- (1) 行動計画のスケジュール化と他市の観光推進状況等の情報収集
- (2) 知立市の観光関連グループとの絆づくり・組織づくり
- (3) 観光協会及び市担当部署との連携・協力

を決め行動してまいりました。なお、行動計画の項目により進捗状況は異なるが平成27年11月12日(木)には、中央公民館にて知立の歴史・観光・イベント分野の第一線でご活躍の団体の皆様方との意見交換会の開催なども実施いたしました。この様な経過のもと、今までの設立準備委員会を発展解消させ本プロジェクト推進会設立を早急に実施するとの結論に至りました。

(設立参加メンバー) アイウエオ順 ○印は幹事

○岩堀 嘉仁	○久世 泰男	○小橋 和昭	三丁目 穂野香
杉浦 葉子	鈴木 彰治	○竹内 謙戈	近森 政己
山中 邦康			

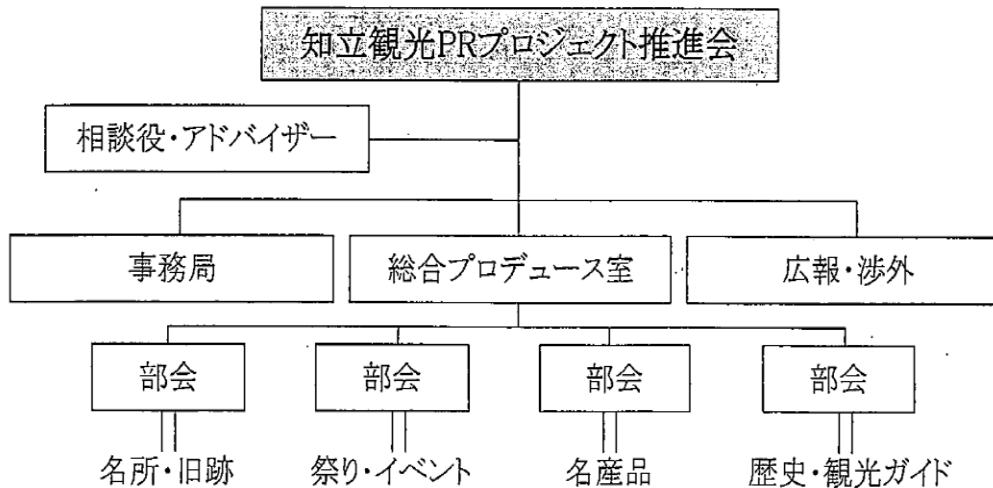
(平成27年度～平成28年3月までの行動計画)

-運営のキーワード-

- (1)スピード感～とにかく早く、計画的に
- (2)行動力～まず、やってみよう
- (3)おもてなしの心～行動の原点
- (4)新しい賑わいづくり(駅周辺再開発事業との連携)

- (1)歴史・観光・イベントの関連団体との絆づくりの推進
- (2)観光協会及び市との連携、サポート体制の構築
- (3)歴史・観光・イベントにおけるトータル年間計画の作成とこれに基づく現状把握作業の実施及び他市の観光推進状況等の情報収集による観光資源の点検(掘り起こし・集約)やPRを目指す
- (4)プロジェクト推進会の組織案づくり(人員構成を含む)規約案づくりの着手
 - 1. 相談役、アドバイザーの設置
 - 2. 歴史・観光・イベントの各グループを支援する総合プロデュース室(仮称)の設置
 - 3. 渉外、広報、事務局の設置
などを検討する
- (5)設立記念シンポジウム(仮称)の開催
～メディアを含む市内外へのPR活動の一環とする～
- (6)ソーシャルメディア「CHIRYU 輝 PROJECT(山中編集長)」との連動による新しいPR活動の模索

(設立時の組織図案)



シンポジウム「観光立市、一步前へ」開催のご案内

⑦

～いまを見つめ、未来を語る～ 参加無料

知立はこの地方の「交通の要所」と言う便利性及び名所・旧跡・お祭り・名産品などの観光資源に恵まれた「まち」であるにもかかわらず市内外の人への認知度や人気度に結び付いていないと言う現実があります。この現状を打破すべく、今回のシンポジウムを開催し、皆様方と共に考えたいと思います。なお今回、講師として下記の方々をお招きして、それぞれの立場からのご意見をいただきたいと思っております。是非、ご参加をいただきたくご案内申し上げます。

記

日時。平成28年2月27日（土）10時30分～12時00分
受付開始は10時15分からです。

会場。中央公民館 1階大会議室

内容。テーマ「観光立市、一步前へ」について知立の観光・賑わいづくりにご活躍の各団体の代表者によるパネルディスカッション及び意見交換会です

講師のご紹介。 （予 定）

- (1) 知立市観光協会会長 本多正幸様
- (2) 知立市商工会会長 新美文二様
- (3) 知立青年会議所青年塾塾長 角田龍厚様
- (4) NPO法人バザール知立理事長 久世泰男様

なお、コーディネーターは、知立動けば会代表 鈴木彰治様です。

主催。知立観光PRプロジェクト推進会・GOいっしょ
(代表幹事 久世泰男)

なお、お問い合わせなどは090-9898-9456 久世まで

シンポジウム「観光立市、一歩前へ」スケジュール表

⑧

主催:知立観光PRプロジェクト推進会 GOいっしょ

日時:平成28年2月27日(土) 10:30~12:00

会場:中央公民館1会 大会議室

時間: 10:15~10:30 受付

10:30~ 開会の挨拶(幹事 小橋 和昭)

10:35~ 主催者挨拶(代表幹事 久世 泰男)

10:40~11:40 シンポジウム

講師紹介	知立市観光協会 会長	本多 正幸 様
	知立市商工会 会長	新美 文二 様
	知立青年会議所 青年塾 塾長	角田 龍厚 様
	NPO法人バザール知立 理事長	久世 泰男 様

コーディネーター 知立動けば会 代表 鈴木 彰治 様

シンポジウム終了後お楽しみ抽選会「ちりゅっぴおみくじ」

受付でお渡しした「おみくじ」の抽選会です。

(司会:幹事 岩堀 嘉仁 三丁目 穂野香)



シンポジウム 「観光立市、 一步前へ」

いまを知り、
観光立市への
一步を

～いまを見つめ、
未来を語る～

参加無料

日時

平成28年2月27日(土)
10時30分～12時00分
(受付開始10時15分)

場所

中央公民館 1階
大会議室

内容

テーマ「観光立市、一步前へ」について知立の観光、賑わいづくりにご活躍の各団体代表者によるパネルディスカッション及び意見交換会です。

開催にあたって

知立はこの地方の「交通の要所」という利便性や名所、旧跡、祭り、名産品などの観光資源に恵まれた「まち」であるにもかかわらず、市内外の人への認知度や人気度に結びついていないという現実があります。この現状を打破すべく、今回のシンポジウムを開催し、皆様方と共に考えたいと思います。

なお、今回講師として下記の方々をお招きして、それぞれの立場からのご意見を頂きたいと思っております。

是非、ご参加頂きたくご案内を申し上げます。

講師のご紹介 (予定)

- (1) 知立市観光協会会長
本多正幸様
- (2) 知立市商工会会長
新美文二様
- (3) 知立青年会議所青年塾塾長
角田龍厚様
- (4) NPO法人バザール知立理事長
久世泰男様

主催

知立観光PRプロジェクト推進会

GO いっしょ

(代表幹事 久世泰男)

お問い合わせ

090-9898-9456

久世まで

4【平成27年度まちづくり委員会プロジェクト③】

「ちりゅっぴ盛り上げ隊の結成」

プロジェクト③代表：岩堀嘉仁 三丁目穂野香 杉浦葉子 竹内謹戈 近森政己(五十音順)

経過報告

H27年8月～

観光関連のプロジェクト②とプロジェクト③とが合同でグループとなり、

メンバー、代表：岩堀、三丁目、杉浦、竹内、近森（五十音順）の5名で活動をスター

ト。

プロジェクト③「市マスコット「ちりゅっぴ」を盛り上げるためのグループ設立」

またその観光誘致を担う一翼として、「ちりゅっぴ」の活動、そしてそのサポートとして

「ちりゅっぴ盛り上げ隊」の設立を検討していく。

新旧メンバーの意識性、前年までの経過を確認し、方向性を統一しました。

またプロジェクト⑤「CHIRYU輝PROJECT」へも協力と連携をすることで一致。

(1) 情報収集と分析…課題の抽出

・ちりゅっぴの活動分析

ちりゅっぴについての市民への周知度、現在どのような層に支持を受けているのか・・・等の

情報を収集すべく、ちりゅっぴの出演イベントへの積極的参加を行うと共に

昨年開催されたゆるキャラグランプリへの投票活動も行いました。

2015 年

8 月 ゆるキャラグランプリ決起集会（結果総合 20 位）

知立よいとこ祭り

10 月 C 1 フェスティバル

12 月 ちりゅっぴお誕生日会・・・etc への参加

・行政(観光関連部門)との意見交換

8 月 1 9 日 「ちりゅっぴ」を P R していく為の、イベント活動について検討を行いました。

1. 「ゆるキャラグランプリ」への積極的応援のための諸作業
2. 他市の「ゆるキャラ」活動の情報収集の企画アイデアを提案
3. 「ちりゅっぴ盛り上げ隊」の活動として「誕生日パーティイベント」を企画(※添付資料 1)

課題：行政とどう連携し、「ちりゅっぴ盛り上げ隊」の結成に繋げていくのか？

9 月 2 日 上記プロジェクトの行動計画を考える際、疑問になっていた事案について

経済課への質疑応答を行いました。

Q,ちりゅっぴの盛り上げ活動について、どのレベルまで自律的に動いていいのか。

A,現在、市の方でちりゅっぴのサポーターを募集しており、

その中から活動してくれる方を召集予定のため、そのサポーターとして活動をして欲しいという

見解。ただし個人単位で、SNS などを通して PR 活動をするなどなどは可能。

Q,活動の住み分け方針について。（盛り上げ隊とサポーター制度）

A,現在はゆるキャラグランプリの活動が中心となっているため、来年に向けた形で今後検討し

ていく。

Q,ちりゅっぴ誕生日会について。

A,市として企画を進めていく。委員会で何ができるか等については今後検討する。

以上の質疑応答を受け、後日当委員会で再検討した結果

10月1日 ちりゅっぴ誕生日会について、JCと協力し、当委員会として何ができるかを

考え

今後積極的に働きかけていくと共に、その他のPR活動を企画し、

実行に移せるよう取り組むことで一致。また、その他年末年始の活動企画を検討しました。

知立がこの地方の「交通の要所」という利便性や名所、旧跡、祭り、名産品などの観光資源に恵まれた「まち」であるにもかかわらず、市内外の人への認知度や人気度に結びついていないという現実を受け、

これを打破するためには何が必要とされるかを問い、意見交換するこの場で、

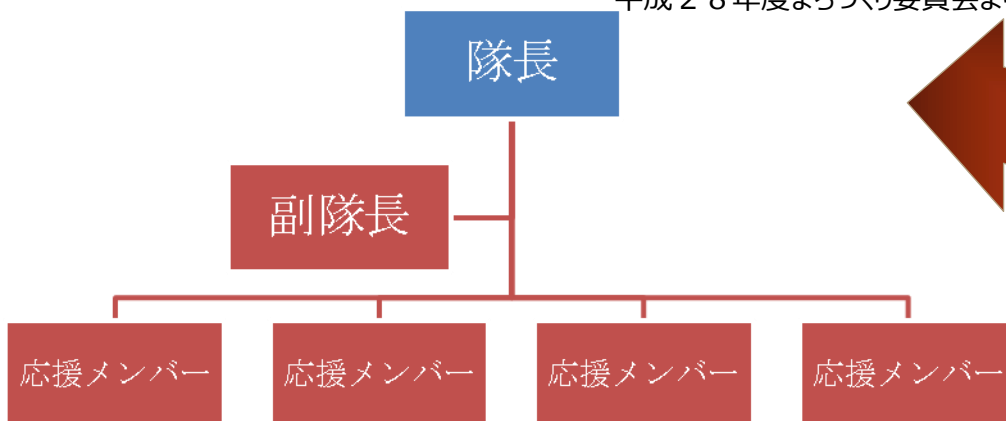
～ちりゅっぴ盛り上げ隊応援団～として参加し、ちりゅっぴおみくじ(※添付資料2)を配布。

ちりゅっぴの魅力と共に、知立の観光、歴史について来場者への周知を働きかけます。

(案)

ちりゅっぴ盛り上げ隊応援団

平成28年度まちづくり委員会より構成



ちりゅっぴ誕生披露パーティー（案）



2015.8

ちりゅっぴ応援隊
代表 岩堀嘉仁

1. 目的

ちりゅっぴの1歳（12/1付け）の誕生日を祝うと共にゆるキャラ
グランプリでがんばったちりゅっぴを賞賛し褒めてあげる

2. 主旨

市主導の下、本当にちりゅっぴのことが好き
な人たちでお祝いをする

添付資料1

3. パーティー詳細案

- ◆開催日時：12月6日（日）14:00～16:00
- ◆場所：知立市中央公民館
- ◆運営：ちりゅっぴ盛り上げ隊（まちづくり委員会メンバー、他）
- ◆動員人数：300名目標（幼稚園、保育園、小学校等に案内、広報ちりゅうでも案内）
※知立学園には交渉し了承済み（ピラ680枚準備して配布頂く）
- ◆タイムスケジュール

12月6日	進行内容	備考
9:00 ～14:00	準備	10名程度必要
14:00	パーティー開始の挨拶 ちりゅっぴ登場 ゆるキャラグランプリでの表彰 パースデーケーキ披露 ハッピーパースデーの歌を合唱 ちりゅっぴへのプレゼント贈呈	登場時にクラッカーにて歓迎 成績に関わらず表彰する 山本学園の協力？ ロウソクの火を消す 子供たちに用意してもらう
14:30	ちりゅっぴふれあいタイム開始 ものづくりタイム開始	自由にふれあい、撮影してもらう お面作り、風船作り ジュースコーナー、綿菓子
～15:45	ふれあい、ものづくりタイム終了	
15:50	お菓子投げ	市長からのプレゼントとして
15:55	記念撮影	全員で写真を撮り新聞に載せる
16:00	終了の挨拶	
～17:30	片付け	

4. 必要な準備、用意する物など

物品	金額等	物品	金額等	物品	金額等
会場、備品		クラッカー300個		お面、風船、綿菓子	
ちりゅっぴ（人）		表彰状	作る	ジュース、お菓子	
ケーキ、ローソク		音楽		ちりゅっぴグッズ	
その他	ピラ、カメラ、ゴミ箱、紙コップ、新聞記者…				

5. 準備スケジュール

9月	10月	11月	12月
企画決定・会場予約	広報記事 ☆メ ☆ちりゅっぴ予約	★広報掲載	★6日（本番）
	交渉・ピラ準備（ケーキ、風船、綿菓子等）	物品等準備 ピラ配り	

ちりゅっぴおみくじ
大吉

この歌は在原業平が八橋のかきつばたを見て詠んだ歌だっぴがあるんだっぴよ！行ってみるっぴ！

知立の無量寿寺にはその旧跡があるんだっぴよ！行ってみるっぴ！

きからころも
つなれにし
ましあれは
はるばるきぬる
たびをしぞおもふ

頭の文字を取るとかきつばたになるのっぴか？
気づいたっぴか？



らっぴー大あんまき
大あんまき 黒

ちりゅっぴおみくじ
中吉

3人遣いの人形浄瑠璃を山車の上で上演しているのは実は知立だけなんだっぴ！

知立の山車文楽とからくりは国指定の重要無形民俗文化財として認められたっぴ！

1年おきに本祭りとお祭りが5月2日・3日に開催される

知立まつりで見る事ができるっぴ！



らっぴー大あんまき
大あんまき 白

ちりゅっぴおみくじ
中吉

三河弘法第一番礼所の自像偏照院には弘法大師の一体見返り弘法大師の一体と祀られているっぴ！

毎月旧暦の21日の命日には参道に多くのお店が出る「弘法さん」が行われてほわわっぴ！

みんなで遊びに行きたいっぴ！



らっぴー大あんまき
栗あんまき

ちりゅっぴおみくじ
吉

知立の大あんまきを焼く葉子の中に二つ折りの中にあんを入れてみたところ東海道を歩く旅人に評判が良かったこと知立には大あんまき屋さんがあるんだっぴ！

ぜい食べてみて欲しいっぴ！



らっぴー大あんまき
抹茶あんまき

ちりゅっぴおみくじ
吉

池鯉鮒の宿の松尾芭蕉

知立市は東海道39番目の宿場町池鯉鮒宿として歌川広重の東海道五十三次にも描かれているんだっぴ

松尾芭蕉のほかに池鯉鮒の小林一茶も池鯉鮒の木綿市の繁栄を歌に詠んでいるっぴよ



らっぴー大あんまき
チーズあんまき

ちりゅっぴおみくじ
吉

知立神社は江戸時代には東海道三社の一つに数えられていたんだっぴ！

境内にある多宝塔は1509年に作られたもので、貴重な仏像を生かして国の重要指定文化財建造物に指定されているっぴ！



らっぴー大あんまき
カスタードあんまき

添付資料2

5【平成27年度まちづくり委員会プロジェクト④】

「池鯉鮒塾（高齢者サロン）の設立」

池鯉鮒塾グループ リーダー 兼子しづ江

目的 : 暮らしやすい地域づくりに貢献

プロジェクトの目標

- ・池鯉鮒塾はまちづくり委員がまちづくりのために学ぶ自主研究組織と位置付ける

池鯉鮒塾は知立市の未来への希望を持たせる学びの塾である。参加者の誰もが塾生であり、誰もが塾講師であるという立場で活動し、市民も行政も互いに協力し、支え合って、教え合って、学び合う手作りの塾である。知立市民の楽しい交流の場となり、学びの場となり、参加者みんなの手で知立市のまちづくりに貢献できる場である。

＜池鯉鮒塾 意見交換会＞ 毎週水曜日 7時開始

- ・意見交換：メンバーの「池鯉鮒塾」への想いや構想の意見交換を再度行う。
 - 各自が自分の想いや意思を発表する。
 - 各自が自分の意見をレポートにまとめて提出する。
 - 全員のレポートや意見を全員で確認し、構想をねる。

(松川さん、西尾さんが個人案を具体的に発表し、参考にして各自で再度企画案を考える。)

＜レポートの概要＞

青木順子案：知立のいいところを池鯉鮒塾で発見する。みんなで歴史のありそうなところ観光スポットなどウォーキングでまわったり、昔からの言い伝えなどを、より掘り下げて歴史を学んだり、市民が誇りの持てる知立を発見したい。参加者を広報やチラシ、クチコミで多く募り、月一回のペースで行事を企画して多くの市民にも楽しい時間や機会を与えられたらいいと思います。

伊藤肇案：シニア世代が自分の経験談を話したり、ひとつのテーマを一緒に考え、語りあう場をつくる。場所として喫茶店、公民館、お寺、などです。自慢話をする機会等を作ったり、また地域で地道にコツコツと歴史を学んでいる人たちと一緒に楽しく勉強会もしたらどうか。

川嶋太一郎案：年齢に関係なく皆で多くを学ぶ場づくり、知立市の歴史をあらためて会員で歴史史料館などで学んだり、昔からの知立に詳しい人の話なども聞いたり、観光名所を皆で訪ねて、観光ボランティアさんから学んだり、戦後 70 年のこの機会を活かし、知立の歴史の真実を改めて学び後世に伝えられるといい。

西尾賢一案： シニアよテレビを捨てて町に出よう！！ をモットーに

池鯉鮒塾に三本柱のイベント柱を立てる。遊び、学び、イベント情報収集、発信などをし、時には会員が水先案内人となり、市民が興味をもちそうで、会員も楽しいイベントを皆で随時考える実行する。例えば、歴史の町知立市でのお笑い三昧の日を企画するなど。やってみたい企画がたくさんある。(別紙に参考資料多数だしていただきました。)

服部 薫案：町内の身近な問題を解決していきたい。市民の皆さんの心をほぐす意味で英語の簡単で楽しい歌など無料でお教えしてもいいと思っています。

廣瀬唯紘案：知立市の歴史。町名の由来。シニアの運動機会などをみんなで学ぶ機会をつくる。塾である以上、できるだけ勉強の場にしたい。専門知識を持った講師とか、費用、内容など会員で検討し、市とも相談、協議しながら無理のない活動する。

松川正弘案：人生を楽しく生きるためには人それぞれではあるが、まちづくり委員の目標は住みよい町、住みたい町である。お茶を飲みながらワイワイとおしゃべりをしながら、みんなが欲していることは何かを模索し、問題提起する。必要があれば専門の講師などを招いて勉強会をする。公民館や空き家など一定の場所で定期的に合唱会、囲碁将棋、麻雀など気楽にお茶を飲みながら、趣味や興味にこうしながら目標を模索していきたい。また実行に当たっては会で十分に打ち合わせ検討を重ね、根幹となるテーマに沿って随時可能なものから皆で協力して活動していく

兼子しづ江案：

- ① 交流の場を作る（語りの会、討論会、お花見の会、星座の会、お月見の会、読書会、漢字の会、F Cの会 etc)
- ② うたごえ喫茶
- ③ 認知症の予防活動（回想センターの設立）

- ④ 防災活動の参加
- ⑤ まちづくり同窓会（年代ごとに集まって交流する会）
- ⑥ 一般常識とマナーを楽しく学ぶ教室
- ⑦ 知立市と市民の交流会や他市のまちづくり関係者との交流で多くの情報を取得する。

<他施設見学活動>

安城市のわくわく喫茶、市内楽語会、池浦町ふれあいサロン、南陽うたごえ会
パチオ池鯉鮒うたごえ喫茶、高浜市の悠遊たかたな 産業振興センター三河屋大うたご
え喫茶)、猿渡まつり、

ちりゅっぴのTシャツ（黄色）の購入しユニホームにする。

<試行活動の実地>

健康講座の企画の試行

内容：「みんなで考える健康講座」 講師：加藤量平氏

アトラクション：ウクレレの演奏 奏者：ジミー鈴木氏

日時：平成27年11月19日

場所：知立市中央公民館

当日参加人数：20人

準備打合せ：講師依頼、役割分担、必要経費、場所確保、参加者募集チラシ

当日タイムスケジュール、アンケート、カメラ、お茶、駐車場等

反省会：アンケートも参加者から好評で進行も良好であった。

次回もぜひ参加したいといううれしいご意見も多くあった。

<今後の活動>

- ・池鯉鮒塾が活動をするために、身分を証明する名札、名刺の作成が必要。
- ・各自の企画案を実現するためにさらに参加者で再検討をして、慎重に無理のない計画のみ実行に移すこととする。
- ・今後は、池鯉鮒塾では共にみんなで学ぶことを市民活動として、今年ここに参加したく
まちづくり委員>のメンバーを中心に幅広いボランティア活動を担い、来る新たな高齢化
社会に対し、みんなで暮らしやすいまちづくりに貢献できるといいと思います。

・市民と行政の協働によって結成されている、知立市まちづくり委員会から生まれた池鯉鮒塾のこれからの展望、発展は、まさに行政の手中にあります。今後、池鯉鮒塾のようなまちづくりを考える会を行政が常に関心を持ち、良心的にサポートし、活気ある市民の手によるまちづくり活動の火を消さないことです。そのために惜しみなく根気よく、市民と行政の距離を縮め、いつでも協働精神を持ち続けることが、今ここに集うまちづくりの市民に大きな希望と勇気を与えるのです。

・池鯉鮒塾に参加して小さな草の根のまちづくりからの活動がいつかは大きな原動力となることを夢見て私たちは知立市のため、自分たちのために頑張りたいと思います。

6【平成27年度まちづくり委員会プロジェクト】

「ソーシャルメディアを活用した新たなコミュニケーション」

報告者 編集長 山中邦康

報告期間	Facebook 投稿開始日、平成27年8月24日 から 平成28年2月17日 まで
プロジェクト名	CHIRYU 輝 PROJECT (チュウ カガヤキ プロジェクト)
プロジェクト名に込めた思い	市民の手で輝けるまち、知立を みんなが輝くまち、知立へ 輝ける、みらいのために
活動方針	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット、主に Facebook を活用し、愛知県知立市を中心とした、魅力を発信していきます ・知立市をより良くするための情報発信を中心に Facilitator (支援・促進) の役割を目指していきます ・統一性のある質の高い情報発信を実行していきます
活動目標	市民が行う、代表的な情報発信ページへ成長を果たし、良い方向への導き手となる事です
数値目標	平成28年3月31日までにページに対しての「いいね！」の人数1,000人を達成する
ページいいね！数の推移と達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・【初期数値目標】発信開始1カ月間でページいいね！「100人」 達成 ・平成27年11月25日、まちづくり委員会中間活動報告時：ページいいね！「352人」 ・【中間数値目標】：27年12月31日までにページいいね！「500人」 達成 ・平成28年2月16日、まちづくり委員会最終活動報告時：ページいいね！「885人」 ・【最終数値目標】平成28年2月23日にページいいね！「1,000人を達成！」
投稿閲覧数	<ul style="list-style-type: none"> ・一投稿に対して最少 661 人から最大9,228人の間で推移しております。 ・週間閲覧数は2,190から15,362人で推移。投稿内容ごとに閲覧数が変動しますが、Facebook ユーザーさまから、上記のような数値で、投稿の閲覧をいただいております。

<p>いいね！数の推移</p>	<p>投稿内容ごとに、22件から130件(現状の最大いいね！数)で推移しております。</p>
<p>おもな投稿内容</p>	<p>「知立市マスコットキャラクター“ちりゅっぴ”・「山車文楽」・「秋葉祭」・「ちりゅうこどもフェスティバル」・「CHIRYU 名店めぐり」・「知立ドリームイルミネーション」・「輝くみらいへ」・「スポーツ鬼ごっこプロジェクト」など</p>
<p>おもな投稿内容の説明</p>	<p>【知立市マスコットキャラクター“ちりゅっぴ”投稿について】 人気の投稿です。27年は、ゆるキャラ投票のPRを中心に取材をさせて頂きました。取材先や投稿を通じ、色々な方の交流が生まれました。今後“ちりゅっぴ”を通じて、初めて愛知県知立市を知って頂いた方、知立市を知ってみたい方々に向けて、知立の魅力・伝統など「魅せれるページづくり」も取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>【山車文楽投稿・知立まつり投稿について】 歴史と共に格式も高く、伝統を継承していく使命感、守っていかなくてはならない事象もあります。一方では、知立市民でも「知立まつり」の実態を知らないという市民の声も届いております。当プロジェクトは、まずは知立市民のみなさま、そして市外へと、みなさまに伝統芸能、知立まつりの魅力を知って頂く事、そして28年度の本祭や、ユネスコ無形文化遺産登録などの盛り上がりを、より多くの方が共有できるよう、発信に努めて参りたいと考えております。</p> <p>【知立ドリームイルミネーション】 27年度の取材を通じて主催者の知立青年会議所様より、28年度「知立ドリームイルミネーション」の取材について、当プロジェクトに役目を頂ける運びとなりました。「5年後、愛知県 No1 の冬のスポットに」というキャッチフレーズのもと、当プロジェクトは情報発信の分野で、微力ながら貢献できたらと考えております。</p> <p>【スポーツ鬼ごっこ投稿について】 子供から大人まで、混合戦でも本気で楽しめる競技です。スポーツ振興として、知立市からムーヴメントを起こす事で、隣接した市域へ波及し、地域交流や健康づくりなど、他にも相乗効果が多様にあるスポーツコンテンツでもあります。名古屋スポーツ鬼ごっこ愛好会の中山さんを中心に「スポーツ鬼ごっこプロジェクト」を実施。第1回目は「ちりゅうふれーばーく」様とコラボレーションにて開催させて頂き、50名を超える参加者様で賑わう事ができました。今後の課題として、ムーヴメントを定着させ、波及させる事ができる主導者さまの御支援が必要な状況となっております。ここ知立市からムーヴメントを起こすことで、知立市の魅力の一つになるのではないかと考えております。</p> <p>【知立市まちづくり委員会、他グループ様の活動投稿について】</p>

	<p>《ちりゅっぴ盛り上げ隊プロジェクト》 ちりゅっぴに関する様々な投稿をさせて頂きました。</p> <p>《池鯉鮒塾プロジェクト》 「取材編集・12月21日に投稿実施」 第1回：池鯉鮒塾プレオープンの模様</p> <p>《まちのオアシス プロジェクト》 「取材編集・10月18日に投稿実施」 第1回：高齢者から赤ちゃんまでの多世代交流サロンの模様</p> <p>《新たな知立駅プロジェクト》 「取材編集・10月11日に投稿実施」 弘法笑店街 道の市イベントブースにて知立駅に関する調査集計の模様 「取材編集・12月10日に投稿実施」 知立高等学校の課外授業において知立駅に関する調査集計の模様</p> <p>《伝統文化を通じた体験学習プロジェクト》 「掲載文作成・10月23日投稿実施」 神社祭礼の体験の模様 「掲載文作成・11月2日投稿実施」 巫女さんの神社祭礼に関して</p>
<p>全プロジェクト メンバー</p>	<p>【スターティングメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山中邦康：編集長(知立市まちづくり委員会 副委員長)：27年6月から ・欄山有香：衣装メイク・書記：27年10月から ・中山忠之：スポーツ鬼ごっこ企画長：27年11月から(名古屋スポーツ鬼ごっこ愛好会 代表) ・小山紗代：28年1月から ・太田和良：ちりゅっぴ取材担当：28年2月から(名古屋市在住) ・上井久美子：28年2月から <p>【リザーブメンバー】※活動意欲はあるが事情により現状活動が困難(2月17日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渡辺博樹：27年10月から ・野村邦広：各種レポート担当：27年10月から(元気倍増プロジェクト 代表) ・川嶋太久郎：27年10月から ・藤井康二：27年12月から(半田市在住)

<p>まちづくり委員会としての活動を振り返って</p>	<p>26年度、ご担当の企画政策課の皆様のお支えにより、市民版まちづくりの提言をする事ができました。27年度、いくつかの提言のなか、当Facebookプロジェクトを実施してみて下さい。という知立市としての見解を頂く事ができました。それから、知立市を元気に！という使命感のもと、取材や投稿を継続し、そこにはたくさんの知立市をより元気にしたい！という方々が、多くいる事に気づかされる結果でした。活動して間もない時期、Facebookを通じて連絡を頂き、取材先のアドバイスから手配に至るまで、エメラルドライオンズ様の寄贈式・山車文楽の稽古・ちりゅうこどもフェスティバル様の投稿など、多くの方の御協力が重なり、任期を全うする事ができました。そして何ととっても、一番の協力者はプロジェクトメンバーです。最後に、支えて頂いたすべての皆様！ありがとうございました。</p>
<p>一般市民としての今後の活動</p>	<p>私たちは情報発信に関して、こだわりや使命感の高い人間の集まりです。多少の無理は承知のうえ活動させて頂いております。メンバー内で、知立市の魅力発信として、今後チャレンジしてみたい企画が多くあり、叶えられていない企画もたくさん御座います。まずはメンバーの想いを順に形に出来ればと考えております。今後も継続して出来るような活動方法で、知立市の魅力発信をあらゆる角度から発信できたらと考えております。</p>

7 【平成27年度まちづくり委員会プロジェクト⑥】

「地域の伝統文化を通じた子どもの体験学習」

活動テーマ名) “地域で子どもを育む知立づくり”

サブタイトル) “地域の伝統文化（八幡社祭礼）を通じた子どもの体験学習（テーマ⑥）”

活動メンバー) 杉本繁三 柿原 健

活動の目的)

- ①子ども達が祭礼に参加、参拝し伝統文化に直接触れる事で、その経験が家族、友達に伝わり、結果として家庭、隣近所、地域に触れ合いの輪が広まる事を目指す。
- ②子ども達が地域への愛着が深まり、地域伝統文化継承の担い手になる事を目指す。
- ③伝統文化の活性化で、新たな文化が生まれ、更なる活動の広がりを目指す

活動の状況)

- ①来迎寺小学校校長、牛田町区長、日吉神社氏子総代長、牛田町の知見者、八橋町区長、八幡社氏子総代長等、各主体の方と面談、趣旨説明し、ご意見を頂く
- ②関係者との面談にて出された、意見、助言の抜粋
 - ・祭礼の単なる見学でなく、子ども達の雅楽生演奏、及び巫女による神舞奉納を常設化できれば更に活性化が図れるのでは。それも生涯学習として取り組んだらどうか。
 - ・地域子供会の子ども回覧板を利用して、PR、啓発行ったらどうか。（ポスター等）
 - ・来迎寺小学校学区全体（牛田町、八橋町、来迎寺町）で取り組んだらどうか。
- ③グループ内の活動記録 8/9、9/8、9/24、10/15、11/11、12/3、1/13、2/10 打合せ
- ④小学校児童の祭礼参拝実績
 - ・7/11（児童8名、母親2名）
 - ・9/12（児童1名）
 - ・16・1/9（児童4名）

活動の総括、反省)

- ①活動の目標、範囲を拡大し過ぎた
- ②机上の作業が主となり、具体的な行動に入り込めなかった
- ③イメージが先行、手探りの状態から脱皮できなかった。

今後の活動に対する心構えと、基本的なスタンス)

- ①活動目標を八幡社への参拝及び雅楽生演奏、神舞の体制確立を進める
- ②牛田町の活動を先に進め、他の町のモデルとなれるよう進める
- ③協働を求める主体として、来迎寺学区コミュニティー協議会、子供会、町内会に求める
- ④平成 28 年度は一町民として、ボランティア活動にて、目標を進める

以上



8【平成27年度まちづくり委員会プロジェクト⑧】

「まちのオアシス…みんなの居場所（コミュニティサロン）」

居場所づくり実行委員会

イベント開催報告書

「まちのオアシス・・・みんなの居場所」



平成 27 年 10 月 18 日（日） 10：00～16:00

弘法公民館

まちづくり委員会コミュニティサロンプロジェクトメンバーと清水道生氏と協力し合い「居場所づくり実行委員会」を発足し、かねてより計画していました「まちのオアシス・・・みんなの居場所」を弘法公民館にて開催しました。このイベントの取り組みを報告いたします。

★イベント概要

① 趣旨

いつ誰が目的もなくふらりと立ち寄れることのある場所“まちのオアシス”を目指す。高齢者から親子まで多世代にわたる方たちが、まちづくり委員とおもちゃや手遊びなどで遊んだり、何もしなくてくつろぐだけでもいいし、話したくなれば自由に声をかけて共通の話題をみつけることもできる場を創出し、高齢者と親子といった地域の人たちとの交流を図る。

② 日時

平成 27 年 10 月 18 日（日） 10：00～16：00

③ 場所

弘法公民館

④ 内容

茶話会（コーヒー・お茶・お茶菓子などの提供）

手作り釣具やコマの展示

英語の手遊び

紙コップロケット・パッチンかえるなど簡単おもちゃづくり

キッズスペース



木工細工のゴム鉄砲で遊ぶ様子



手作りコマ



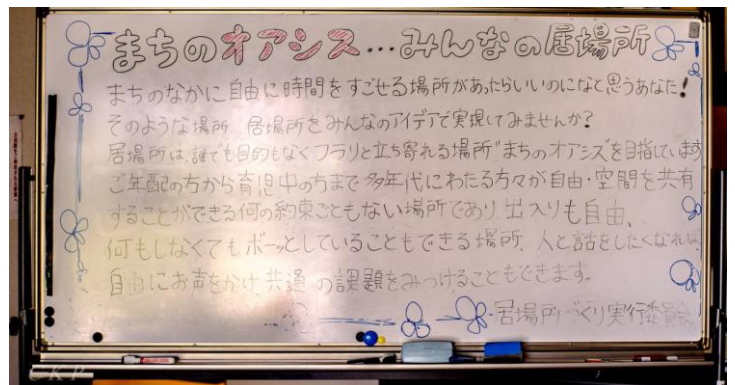
キッズスペースでの交流



ゴム鉄砲、子どもに人気でした



受付前にて



受付近くにまちのオアシス概要を掲示しました



市長や市議員も来場し、にぎやかでした

「第1回居場所づくりを終えて」

昨年から「知立市まちづくり委員会」にて検討をしてきた“知立市のまちづくり”の一環として『乳幼児といった子育て中の方から高齢者』までを対象として“いつでも、誰でも、何の目的もなく、何もしなくても自由に集うことのできるサロンのような場、自由な空間を共有できる場”を求めて活動してきました。開催に至るまで、有志で集まり、どのように運営するか、運営資金はどうするのか、来場者は集まるのかなど、議論を繰り返してきました。

そして、平成27年10月18日(日)、弘法公民館を借りて第1回「まちのオアシス・・・みんなの居場所」を開催しました。お菓子を準備し、お茶等のために湯を沸かしたり、コーヒーを淹れたりし、来客を待ちました。

午前中には、弘法区の方々、林市長、市議員などの参加があり、少し安堵しました。実行委員のお子さんをはじめ、参加してくれた元気の良いお子さんと高齢者との交流を見て、目的としている多世代間交流が少しは実現できたと感じました。高齢者の方々は、近くに喫茶店もなくなり、自由に集まる場がなくなりました。かといって、遠くに行くには不安もあり、まちのオアシスのような場があると有難い、楽しめる場ができ嬉しいと語っていただきました。他には、ゴム鉄砲やプラレールでお子さんたちと遊ぶ方もいらっしやり、微笑ましいと感じました。また、展示していた手作り釣具をみて感心してくださった方、コーヒーが美味しいと言ってくださる方もいらっしやり、開催してよかったと思いました。

午後は、比較的来場者が減りました。これは福祉まつりと重なったこともありやむを得ないといえます。

第一回目として、まずまずの出来栄であったと評価したい。これで、以後どのようにしていくのか、次回も開催するのか、運営はどうするのかなどの課題を今後話し合っていきたいです。

居場所づくり実行委員
清水 道生



小さなお子さんから高齢者が集う場となりました

★イベント参加者数

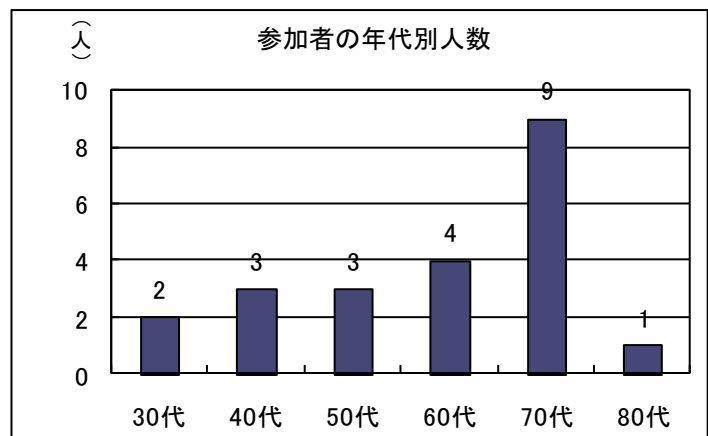
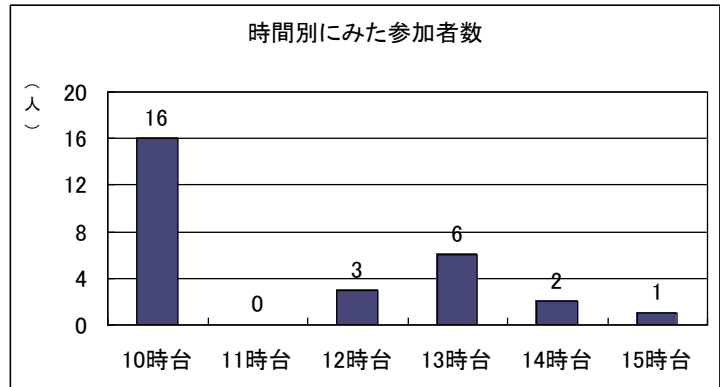
全体のイベント参加者数 28 人（再来場者・子ども含む）

★アンケート集計

参加者数：28名

アンケート回答数：22名

属性		(人)
性別	男性	8
	女性	14
年齢	30代	2
	40代	3
	50代	3
	60代	4
	70代	9
	80代	1
住所	弘法町	15
	その他	5
	無記入	2



(1) この催しをどのようにして知ったか（複数回答あり）

(人)

回覧板	10
クチコミ	10
通りすがりに	1
広報	2

(2) 今後の開催頻度の希望

(人)

年に数回	6
月に1回	14
週に1回	0
毎日	1
なくてよい	0
未記入	1

(3) 催しの内容について（複数回答あり） (人)

何かプログラムがあったほうがよい	6
食事があるほうがよい	2
クラブ活動のようにみんなでやれることを考えたほうがよい	6
参加者がその都度話し合っ決めて決めるほうがよい	1
何もしなくてもよい	3
その他	0
無記入	5

(4) 開催場所について（複数回答あり） (人)

弘法公民館（この会場）	18
弘法公民館以外の公民館	1
空き家を活用	4
その他	0

(5) 費用について (人)

会員制にして飲食代、会場費を参加者で負担する	8
その都度かかった費用をみんなで負担する	10
無料	2
その他（内容による。費用があるときは会員制もあり）	1
無記入	1

(6) もし費用がかかるならどれくらいまで費用負担できるか。 (人)

200 円	5
200～300 円	3
300 円	2
500 円	6
1000 円	3
月に 1000 円	1
無記入	2

(平均 452.5 円)

(7) 運営などの協力はできるか (人)

運営から協力したい	2
毎回は協力できないが、できるときに協力したい	11
会場を提供できる	1 (神谷議員)
このような催しに活かせる技術・特技がある	2 (内訳) ・編み物・まちづくり
無記入	8

◎協力してくれると回答し、名前を記入してくれた方：9名

(8) 次回も参加したい (人)

参加したい	19
参加したくない	0
無記入	3

(9) 感想 (自由記載)

- ・楽しかったです。居心地のいい空間だと感じました。(40代女性)
- ・今日はありがとうございました。楽しいひと時を過ごさせてもらいました。(70代女性)
- ・仲間やご近所のふれあいの場になればいいと思います。(70代女性)
- ・楽しい時間を過ごさせていただいてありがとうございました。(70代女性)
- ・とても楽しかったです。(70代女性)
- ・とてもいい催しだと思います。(40代男性)
- ・時間を朝9時～午前中で(70代女性)
- ・温かい雰囲気とても居心地がよかったです。(30代男性)
- ・良いことだし、ありがたい場だと思います。内容はまだこれから・・・の様子ですが、続きことを願います。(50代女性)
- ・運営ご苦労様でした。(60代男性)
- ・これからも続けていただけますよう期待しています。(50代男性)
- ・気軽に来れる感じにすると思います。(60代女性)
- ・気軽に来れるところが良い。(60代男性)
- ・思いやりのある方々がお集まりですね。(40代男性)
- ・私は何か売っているところかと思っておりました!勘違いをしていました。(80代女性)
- ・すごく温かい気持ちになりました。細かいことを聞かれたりせず、来た人を受け入れてくれる環境があれば悩んでいる人や心が弱っている人の救いの場になるのではないかと思います。(40代女性)

★会計報告

支出の部			収入の部	
ダイソー	テープ・輪ゴム・名札・箸・紙皿・紙コップ 2 種類・マドラー(合計 8 点)	1080	寸志	20000
ミマツ	ペットボトル(お茶)1 本	835		
	ペットボトル(オレンジ)2 本			
	ペットボトル(カルピス)2 本			
ピアゴ	Key コーヒー3 個	1839	当日寄付	5930
	お茶	580		
	スティックシュガー80 本	192		
	紅茶トワイライト	429		
	コーヒーフレッシュ	181		
お菓子カンパニー	ぼたぼた焼き・アンパンマングミ・マリオチョコ・柿の種・フルーツソフト帽子等	4130		
コンビニ	印刷代	315		
公民館	クーラー代	200		
小計		9781	小計	25930

収支合計	16149
------	-------

お菓子、ペットボトルジュースが半分ほど余りました。

★ふれあいステーション★

知立手品愛好会創立10周年記念 マジックショー

会員が、日頃から磨き上げたマジックを披露します。ぜひ、お越しください。

▼とき 11月1日(日) 午後1時開演 (午後0時30分開場)

▼ところ リリオコンサートホール

▼定員 280人 (先着順)

▼入場料 無料

▼問合せ 知立手品愛好会 (Eメール magic@chiryuamain.jp)

○ホームページ <http://chiryuamain.jp>

パソコンで年賀状をつくらう

「オリジナル年賀状作り」に挑戦!

図案の提供・写真挿入などオリジナルな年賀状を、あなたご自身でつくります。

▼とき 10月20日(火)～12月20日(日) 午前10時～午後4時のうち90分 (申込み時に予約)

▼ところ 中央公民館

▼参加費 500円

※はがき持込み、パソコン持参。コンをお持ちでない人は相談のります。

※図案提供のみ可。(保存するのを持参)

※印刷のみでも可(料金別途、要相談)

▼申込み・問合せ 期間中にモーニング

みんなのけいじばん

モーニングパソコン勉強会(82) 6354へ。

「まちのオアシスみんなの居場所」 「ふれあいサロンの開催」

誰でも目的もなくフラリと立ち寄れることのできる場所、「まちのオアシス」を目指しています。多世代にわたる人が自由な時間・空間を共有することのできる場です。おいしいコーヒーを飲みながら、様々な人とふれあってみませんか。

▼とき 10月18日(日) 午前10時～午後4時

▼ところ 弘法公民館

※自転車または徒歩でお越しください。

▼内容

- ・こだわりコーヒーなど飲み物とお茶菓子の提供
- ・おじいちゃんの手作り釣具やコマの展示
- ・おばあちゃんの英語の手遊び
- ・紙コップロケットづくり(数量限定)

※自由参加

▼参加費 無料

▼問合せ 居場所づくり実行委員会 kushun.kushun1025@gmail.com

※当日、手伝ってくださるボランティアさんも募集しています。

まちのオアシス・・・みんなの居場所

まちのなかに、自由に時間をすごせる場所があったらいいのになと思うあなた！
 そのような場所…居場所をみんなのアイデアで実現してみませんか。

居場所は、誰でも目的もなくフラリと立ち寄れることのできる場所。
 “まちのオアシス”を目指しています。ご年配の方から育児中の方まで多世代にわたる方々が自由な時間・空間を共有することのできる、何の約束もない場所であり、出入りも自由、何もなくてもボーッとすることもできる場、人と話をしたくなれば自由にお声をかけ、共通の課題をみつかることもできます。そのような“居場所”を以下のように開催いたします。

授乳室あります！お子さま連れの方もぜひご参加ください！

こだわった美味しいコーヒーなど飲み物・お菓子ごさいます！

当日手伝ってくださるボランティアさんも募集しています！

徒歩や公共交通機関、または自転車でお越しください

おじいちゃんの手作り釣具やコマの展示

おばあちゃんの英語の手遊び

紙コップロケット作り(数量限定)

参加費 無料

日時：平成 27 年度 10月 18日(日) 10時～16時

場所：弘法公民館(愛知県知立市弘法町弘法山24-8)

主催：居場所づくり実行委員会
 問い合わせ：丸谷 090-4647-7100

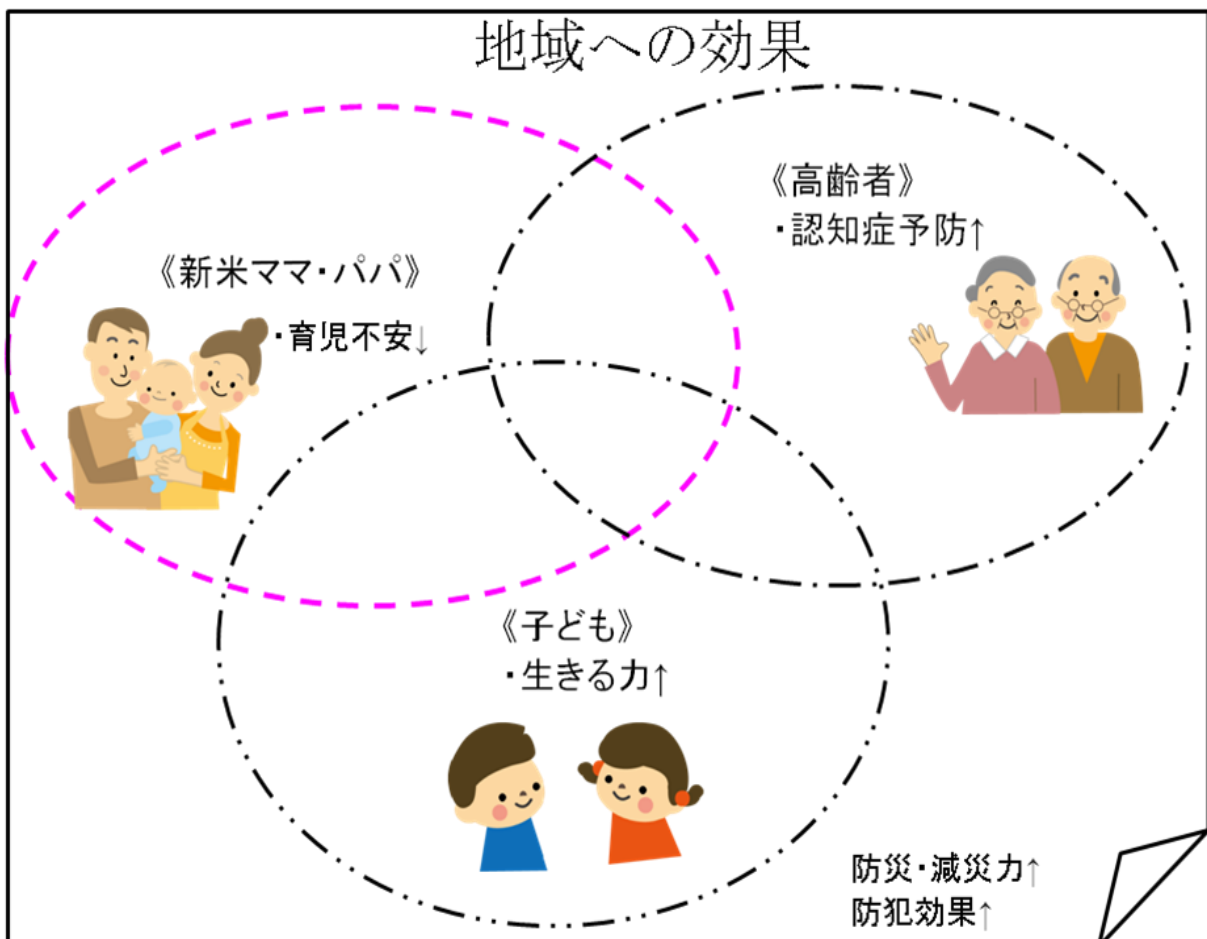
左図は、弘法区回覧板に挟み込んだ。まちづくり委員会にも参加協力を募った。他、当日近くでゲートボールをしている御婦人たちに直接声をかけたり、メンバーの友人を勧誘。

まちのオアシス～みんなの居場所



場所と日時	参加者数	内容	備考
弘法公民館 H27年10月18日 午前10時～午後4時	28名 (幼児～80代まで)	・茶話会 ・手作り釣具や駒の展示 ・手作り鉄砲 (全て無償)	(参加者の感想) ・温かい雰囲気居心地がよかった ・気軽に来れるところがよい ・また開催して欲しい
宝町公民館 H28年3月28日 午前9時～正午	未定	・茶話会 ・手作的あて ・手作り鉄砲など (全て無償)	・若い世代が多い地区 ・1600世帯のうち町内会入会率は約50% ・若い世代の地域のつながりが希薄か？

- ・平成28年度は開催場所を増やす or 定期的実施予定
- ・参加費については検討中



平成 27 年度 “まちづくり委員会” 結びの言葉

2月24日の市長への報告会を以って、実質的なプロジェクト活動は終了します。思い起こしますと、平成25,26年度での“市民版総合計画策定”の目的の基、基本的なテーマの掘り起こしから始まり、4点のテーマに絞り込み、それを基本に平成27年度は8点の個別テーマを選択し、活動に入りました。昨年の8月5日に第一回プロジェクトを開催し、11月25日には市長への中間報告会を実施し、今日を迎えています。

各グループは毎月二回のプロジェクト会議への出席は勿論の事、それ以外にも、行政及び他の主体との折衝等、大変なご苦勞をなされた事と想います。各グループに於いては、夫々進捗の違いは有ります。これは個々の活動に於いて、置かれている環境、条件が違うので致し方無いことです。ここで、全てのグループ、委員の方に対し、敬意の言葉をお送りします。

今後は、平成27年度での社会実験としての活動成果を糧に、ボランティアグループ登録活動等、市民及び市全体で喜ばれる活動を継続的に行われる事を期待致しています。

3月を以って平成27年度の委員会は解散になり、次年度は、又新しいテーマ、形態で委員会の活動がなされると思います。積極的な活動への参画宜しく願います。

最後になりましたが、“まちづくり”を考えた場合、その活動が「人々の生活に於いて、身近で、大切なもので、本当に認められているか」といつも自問し、「まちづくりとは暮らしづくりそのもの」との認識にたち、活動に関わる全ての人に対して、尊敬の念を持ち、何事にも誠実に対応する事だと思います。ありがとうございました。

以上

平成 27 年度まちづくり委員会副委員長 柿原 健